

令和5年度 愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修レポート

2024年2月2日

テーマ④「安全計画の策定と実践」

～マニュアルを作成し、リスクマネジメントを行いましょう～

【クラブ】（ なかよしクラブ ）

【名前】（ 吉川 美里 ）

ちょうど少し前にNPO拡大職員会議において、安全管理・事故防止の研修をしたばかり。NPO6クラブの職員会議でも他の地域の例を参考にしたり、マニュアルの読み合わせをしている。危機管理・安全対策のマニュアルを一つ一つ丁寧に見直していたところ、安全計画の策定が義務化となった。安全計画は地域やクラブの立地条件の違いなどから、しっかりと自分のクラブに合ったものが必要になってくる。ただ作成で終わりではなく、訓練、分析、見直し、改善していくことで意味あるものへと繋げていかなければならない。講師や専門家の先生からは、特に“分析”というワードが頻繁に繰り返されていたのが印象的である。

安全計画については令和5年4月1日より施行、

- ① 安全計画を策定し、当該安全計画に従い必要な措置を講じなければならない。
- ② 職員に対し周知し研修及び訓練を定期的実施しなければならない。
- ③ 保護者との連携が図られるよう、内容等について周知しなければならない。
- ④ 定期的に安全計画の見直しを行い必要に応じて変更を行うものとする、とある。

どの職員でも対応できるようにしておくことや、子どもたちが判断して何とか出来るように、子どもが自ら危険を回避出来るように、を目標に作成・実行していく大切さを感じた。押さえるポイントの一つとして、あらゆる状況で最善を尽くし子どもの命はもちろん、保護者や職員も守る視点を持つことも大切なことだと思った。

後半のグループワークでは2つのテーマについて 全員別の地域の指導員で意見交換した。テーマ1ではヒヤリハットの事例を出し合って意見交換したが、ヒヤリハットといってもアレルギー対応や遊びにおける事故、保育所からの飛び出しなど数多くの種類が出された。どの学童保育所も対策に努力されていることが分かった。テーマ2では避難訓練についての奥の深さを感じる様々な意見、関連する事柄の情報交換をした。特に避難訓練については、どうするのが一番良いのか、これで本当に良いのだろうか、どの地域の指導員も試行錯誤で悩んでいる不安な様子だった。ほぼこの課題が中心で時間が足りなくなってしまうほどだった。ほかには連れ去り、出欠確認方法、交通安全、下校時の問題点、避難時の方法等について情報交換をした。地域性や私立の小学校に併設されている学童保育所など法人の形がかなり異なり、ルールや施設のある状況の違いを感じた。避難訓練に対する取り組みや対策を具体的に聞くことが出来、有意義な研修となった。それらを参考にしながら、最善策を考えていきたいと思う。